

横浜市立日下小学校 令和3年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
夢に向かって ともに歩み 未来を拓く 日下小学校	チャレンジする心・人とつながる力

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○教職員は、子どもがいきいきと自信をもって学べる学校づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異学年ペア活動を通して子どもが自分のよさや友達のよさを認め合い、高め合えるように寄り添った指導をします。 ・地域の教育力を活用し、子どもに豊かな教育活動が提供できるようにします。 ・地域のあいさつ運動と連携して、自ら進んであいさつができる子どもを育てます。 ・児童指導の課題、いじめ防止について教職員で共有し、チームで対応する体制づくりを整えます。

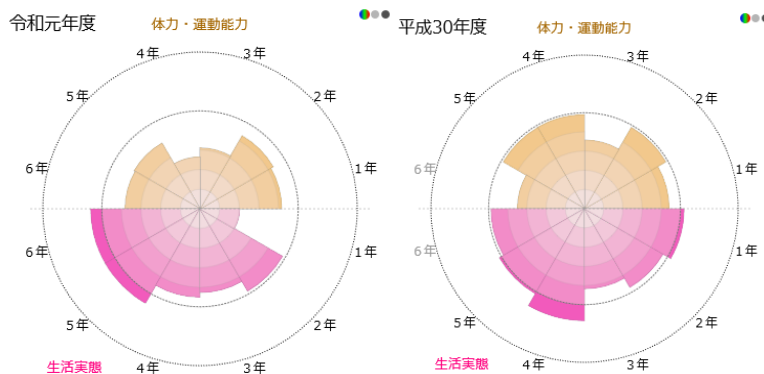
(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活様式の中で、体育の授業づくりを工夫して行い、進んで運動に取り組めるこの育成に努めます。 ・委員会活動等で外遊びを中心とした集会を計画し、積極的に運動する機会を設定します。 ・感染症対策を行い、自分や友達とのかかわり方や健康保持について意識を高めます。
担当	体力向上委員会

2 体育・健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

・学年が進むごとに体力・運動能力の結果は市平均に比べると低くなっている。生活習慣、運動時間等は大きな変化が見られないことから、体の成長と共に柔軟性や持久力が低下していると思われる。年齢に必要な運動量が確保されていないことがうかがえる。学校保健委員会や体力向上委員会で外遊びや体力づくりを実践したので今後の成果に期待したい。



(2) 体力の概要と要因の分析
 元年度、30年度の2年間の体力テストの結果を見ると、大きな変化は見られないが4年生が運動能力が低い。生活実態をみると、生活習慣は安定しているが、運動時間が短い。社会体育等で運動に励む児童がいる一方で、学校体育、休み時間以外に体を動かすことをしない児童も多いことが予想される。今後も委員会活動等でクラス単位、

学年単位、ペア学年で体を動かす取組を企画し、運動時間の確保を進めたい。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科の取組》

一人ひとりが主体的に運動に取り組み、できる喜びや協力して課題を解決する楽しさを味わえるような授業づくりの工夫。

- ・子どもが、主体的に運動に取り組めるように、めあて学習の推進。
- ・単元配列を工夫して、いろいろな運動に取り組める計画の工夫。
- ・自分の体の変化や成長を実感したり、けがや病気の予防について理解を深めたりできるように養護教諭、栄養教諭との連携の工夫

《他教科での取組》

心身の健康な生活を実践する態度を育む

- ・自分や友達のよさに気づき、互いに高め合う態度の育成をめざした道徳の授業づくり

特別活動・総合的な学習の時間

学校保健委員会の取組

「よい姿勢でござう」

昨年度教職員のアンケートの中で子どもの姿勢について気になるという意見が上がっていた。日常の姿勢について、学齢期における体の発育に影響があり、内科健診でも検査項目に追加されている。また、最近の課題となっている子どもの視力低下にもつながっていること等、姿勢と心身の健康は関係が深いことが指摘されている。そこで今年度は、日常の姿勢について目を向けて取り組んでいきたい。

課外活動

- ・健全な食生活を営む態度をはぐくむために、給食の時間を活用し、栄養など食に関する指導を行う。
- ・学校保健委員会で、よい姿勢について取り組み、健康な生活に必要な資質を育てる。
- ・体力テストの結果等を保護者と共有し、家庭と連携を図る。

令和3年度 日下小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 日下っ子元気アップ大作戦 ～目を輝かせて体を動かす子の育成～

《ねらい》 中休みに外遊びをすることで、体を動かすことの楽しさを実感し、運動する習慣を身に付ける。また、委員会活動で集会を計画実践することで、運動への関心を高める。

《内容》

- ・運動委員会による体力アップ集会の実施
- ・各学級で外遊びの工夫を発表し、外遊びを実践する。
- ・短縄集会を実施し、個々のめあてに沿って運動に取り組む。

●指 標： ①生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「睡眠時間」「朝食摂取状況」「1日の運動・スポーツの実施状況」